

授業改善等に関する報告書（2020年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
子どもの理解と援助	松田 純子	「子どもの理解と援助」は演習科目でしたが、今年度はオンデマンド型授業ということになり、グループワークやディスカッションができず、受講生のみなさんには申し訳なく思います。毎回、できるだけ主体的に学ぶ課題を考えたつもりですが、全体に課題提出の状況は良好で、みなさん真面目に取り組んでくれました。次年度の実習に繋がればと思います。
教育実習指導（小学校）	南雲 成二 渡辺 敏	より教育実習に生かされる内容になるよう改善します。 ☆☆2020年度はコロナ禍の中、幼小コース専攻第8期の皆さん一人ひとりがより強い気持ちと創意工夫を発揮し、11人それぞれの個性、代理不可性を大切に「小学校教育実習」に取り組みました。素晴らしい成果です。どうかこの貴重な体験を基盤として、公立小学校教員採用試験にアタックしてってください。しっかりと応援させていただきますね。（南雲）
知覚・認知心理学 a	中山 友則 作田 由衣子	今年度はオンデマンド形式で授業を行いました。なるべく皆さんへの質問に答えるようにして双方向のやり取りができるようにしたこと、講義動画を配信したことが学習効果やモチベーションにつながったなら嬉しく思います。知覚や認知について関心を持ってくれた方は、ぜひいろいろな本や資料を探して読んでみてください。
子どもの理解と援助	松田 純子	「子どもの理解と援助」は演習科目でしたが、今年度はオンデマンド型授業ということになり、グループワークやディスカッションができず、受講生のみなさんには申し訳なく思います。毎回、できるだけ主体的に学ぶ課題を考えたつもりですが、全体に課題提出の状況は良好で、みなさん真面目に取り組んでくれました。次年度の実習に繋がればと思います。
家族と生涯発達総論	細江 容子	特に10の「担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか」という部分の関して、今後講義中に学生に確認しつつ授業を行っていく必要があると感じた。今回は、Zoomを用いた講義であり、Zoom対応での方法の熟知も必要と考える。
生活経済論	高橋 桂子	今年は座席指定だったこともあり、より集中して授業に取り組んでくれました。それもあって、シラバスにはなかったHAD、Google FormでアンケートなどPCスキルの授業も取り入れることができ充実した授業でした。「テキストの使用と、わかりやすい解説のおかげで金融の知識が身につきました。大学生のうちに、学べたことは大きいです。」「これから先覚えていると役に立つことをたくさん教えていただけて、いままで数学なんか無理!と勝手に経済学に苦手意識を持っていましたが、高橋先生のわかりやすい説明をしてくださったため、最後までめげずに問題を解くことができました。最後のテストでは満点が取れて本当に嬉しかったです。」「先生はよく動いたり、誰かを当てたりしていたので、対面授業の方がより理解が深まると感じました。」「こういう声が届くと担当講師としてうれしい限りです。」「生徒の回答(口頭)に対しての反応が早く、声がかぶさって聞こえて、なんて答えたのか分からないことが多々あったのが気になりました。」「改善していきます。」「(難しい用語は)グループに分かれて、高校生にわかりやすいような説明を考える回があってもいいかなと思いました。」「これはgood ideaですね。次年度の講義で取り入れます。ご提案ありがとうございます。
保育活動の実際c	中澤 歩	シラバス記載の授業における到達目標を達成するために、各回の授業の目的を理解した上で学習に励んでいた姿が見受けられて良かった。双方向授業の工夫がもう少しできると、疑問に思ったことをもう少し多く解決できたかもしれないので改善したい。
特別活動の指導法	南雲 成二	コロナ禍の中、幼小コース専攻第9期の皆さん、真摯に学習に取り組んでくださり、とても嬉しかったです。初等教育実践は、縦系が教科経営（特に国・算・生・社・理・図・音・体・家、小学校英語・総合的な学習）です。そして横系が学年・学級経営です。特別活動と道徳の学習は学級担任力・学校担任力と直結しています。縦系と横系で「学び」を織り成し、「生きる力」を紡ぎだしていくのが大切な教師の仕事です。皆さんはその基礎力を「模擬授業学習会」の中で鍛えてきました。この実践力を3年生の学習に活かしていきましょう。
乳児保育	井口 眞美 齋藤 政子 市野 繁子	齋藤先生、市野先生からコメントを預かっていますので、井口が代筆します。 「コロナ禍の慣れない学修方法の中、みなさん、課題提出等よく頑張りました。乳児保育について具体的な学びができてよかったとの声も多く、嬉しく思っています。 今後、ますます乳児保育の知識や技能が求められることでしょう。この授業で学んだことを、保育実習や就職先で活かしてください」
保育活動の実際c	中澤 歩	シラバス記載の授業における到達目標を達成するために、各回の授業の目的を理解した上で学習に励んでいた姿が見受けられて良かった。双方向授業の工夫がもう少しできると、疑問に思ったことをもう少し多く解決できたかもしれないので改善したい。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家庭経営論2	高橋 桂子	「家庭経営論（の授業）を通じて、現代社会の抱える問題が見えてくる。」「みんなから信頼されている上司や、たくさん壁を乗り越えてきた美容師さん達の動画を視聴して、積極的に問題を発見、解決したり、自分のためだけでなく、他者のために行動できるようになった。」「いずれ我々が社会人として生きていくとき、本科目で学んだ問題意識や考え方を持續させていけるようにならなくては考えた。」準備は着々と進んでいるようです。頼もしい限りです。「問題や課題に対して自分の考えを持つという力が身についた。また、その考えを自分の言葉で伝えるという力が身についた。」意識して多様なことに取り組みました。本邦初の講義も2回ありました。それぞれが皆さんの胸に刺さったようですね。毎年、講義は履修学生の取り組みの様子にあわせて試行錯誤しながら進んでいきます。今年度の皆さんの真摯な記述を拝見しながら、この姿勢を継続すればよい、との自信をもらいました。授業は双方のコミュニケーションで成立するものですからね。
算数	渡辺 敏	よりわかりやすく、満足のいく授業内容になるよう改善したいと思います。
保育内容指導法（表現）	井口 眞美 羽岡 佳子	途中での担当交代もあり、すみませんでした。 それでも、表現力豊かなこの学年のよさが発揮されていて、よかったと思っています。 「保育者自身が表現を楽しむ」という保育の重要なポイントを理解してくれてうれしいです。
乳児保育	井口 眞美 齋藤 政子 市野 繁子	齋藤先生、市野先生からコメントを預かっていますので、井口が代筆します。 「コロナ禍の慣れない学修方法の中、みなさん、課題提出等よく頑張りました。乳児保育について具体的な学びができてよかったとの声も多く、嬉しく思っています。 今後、ますます乳児保育の知識や技能が求められることでしょう。 この授業で学んだことを、保育実習や就職先で活かしてください」
保育内容指導法（表現）	井口 眞美 羽岡 佳子	途中での担当交代もあり、すみませんでした。 それでも、表現力豊かなこの学年のよさが発揮されていて、よかったと思っています。 「保育者自身が表現を楽しむ」という保育の重要なポイントを理解してくれてうれしいです。
心理学研究法入門2（心理学統計法）	中山 友則 作田 由衣子	統計はなかなか難しく感じますが、これから卒業するまでだけでなく、卒業後もとても大事な知識となりますので、ぜひ頑張ってください。
生活心理フィールドワーク1	水野 いずみ 長崎 勤 塩川 宏郷	新型コロナウイルス感染症の流行にともない、外部施設への訪問・見学ができなかったことは残念でした。しかしながら、問題意識をもってインタビューする、インタビューで得られた内容をまとめる・分析するというフィールドワークの基本的な部分は学習できたと思います。インタビューの準備を含め、実施計画をきちんとたてる訓練が必要です。
保育・教育指導の基礎	松田 純子 井口 眞美 渡辺 敏 大澤 朋子	「保育・教育指導の基礎」後期は、コロナ禍の中でしたが、何とか対面授業、そして見学観察実習を行うことができ、安堵しました。受講生のみなさんも改めて実地での学びの重要性を感じたことと思います。振り返りレポートからも、みなさんの真面目で意欲的な授業への取り組みが伺えました。この学びを2年次の学習へと繋げてほしいと思います。（松田） 後期には、幼稚園の見学実習も何とか実施することができ、ホッとしています。 実際の子どもたちと関わったり、保育を観察したりして見えてきたことを振り返りながら今後の講義を受けることで、学びが深まります。 引き続き頑張ってくださいね。（井口）
保育・教育指導の実践	松田 純子 井口 眞美 渡辺 敏 大澤 朋子	この状況の中、何とか幼稚園実習を行うことができ、ホッとしています。 エプロンシアターを子どもたちに披露したことは、きっとみなさんの自信につながることと思います。 来年度以降の実習に活かしてくださいね。
生活心理フィールドワーク2	水野 いずみ 作田 由衣子 塩川 宏郷	新型コロナウイルス感染症の流行で、例年のように施設訪問・インタビューができなかったことは残念ですが、Zoomによる遠隔面接など、ある程度の体験はできたと思います。フィールドワークのまとめが中途半端になってしまっている印象があります。
男女共同参画社会と生活	細江 容子	特に10の「担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか」という部分に関して、今後講義中に学生に確認しつつ授業を行っていく必要があると感じた。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育原理 2	松田 純子	前期の「保育原理1」に引き続き「保育原理2」もオンデマンド型授業となり、受講生のみなさんとの直接の対話や受講生同士のディスカッションができず、残念でした。発達、遊び、環境、保育者の専門性といった重要なトピックスを扱いましたが、毎回の課題ではできるだけ主体的に学んでもらいたいと設問を考えました。全体に提出状況は良好で、みなさんが真面目に取り組んでくれたことが分かります。理論を学び実践に活かせるように、また実践を通してさらに理解が深まるようにと願っています。
ゼミナール	高橋 桂子	「積極的に行動できるようになった。自分の意見や考えを自ら提案できるようになった。」皆さんたちに最も求められている能力開発分野です。それができるようになったと思えただけでも、1年間、皆さんと真剣に向き合った甲斐がありました。半歩でも数歩でも前に進んでいこう。後ろからしっかり支えていますから安心して！
ゼミナール	田中 正浩	回答者数が1名で、これをもって分析、評価をするのは難しいが、授業内容及び方法のより一層の工夫が必要であり、4年次での卒業作成に各自が主体的に対応できるように授業の質を上げていきたいと考える。
ゼミナール	南雲 成二	雨二モマケズ、風二モマケズ。コロナ禍二モマケズ、4人で力をあわせよく努力しました。立派だったと思います。四人四様の『小学校4週間教育実習』への取り組み、ゼミナールの中で少しずつ形になってきている『小学生時代に出逢って欲しい、出会わせたい100冊の本&200冊の本』是非完成させていきましょう。併せて、各自の『卒業論文の内容構成』もいよいよ具体化させていきましょう。
ゼミナール	水野 いずみ	コロナ禍のなか、1人1人が工夫しながら取り組めていました。
ゼミナール	渡辺 敏	卒業論文につながる学びが行えるように授業改善に努めます。
生活文化史 2	細江 容子	1年生対象講義であり、大学の90分授業に慣れてもらうこと、大学で学ぶことを楽しんでもらうことができるよう配慮しながら講義を設計した。多様な文化の中での子どもや女性の人権等に関わる内容を理解する視点から、映像の視聴等で様々な社会的課題に関心をもってもらうことを考えた。
言語心理学	長崎 勤	言語心理学についてのトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、言語の諸側面や言語の支援に関心を持ってもらえればと思います。
生活の科学	榎 究 橋 弘志 水野 いずみ 大川 知子 白尾 美佳	榎です。1回担当しただけですが。Zoomでの開催でしたが、授業終了時に何人かの人が残ってくれて、色々な話をしたのが印象に残っています。興味を持って貰える部分があるのは、とても嬉しいものです。オムニバスですから、多様なトピックがあったと思いますが、少しでも何か「引っ掛かる」ものが見つかったなら、担当者として嬉しいところです。（きっと、他の先生方も同じように考えていらっしゃると思います。）
社会心理学 1（社会・集団・家族心理学）	水野 いずみ	毎回の体験・演習に積極的に取り組むことができている様子がうかがわれました。
音楽	越山 沙千子	皆さん、半期お疲れさまでした。アンケートに答えていただいた方も、ご協力ありがとうございます。不安な方もいらっしゃる楽典や弾き歌いについても、学んできたことを生かそうとする姿勢が、授業内だけでなくアンケートからも窺うことができうれしく思っています。私自身も学ばせていただくことが多く、さらにコロナ禍での授業ということで試行錯誤の連続でしたが、できることを楽しみながらできたのではないかと思います。今後も学び、磨き続けていってください。ありがとうございました。
保育実習指導 1	松井 利恵	コロナ禍の中、前期の実習がすべて後期になり、各自2つの実習をそれぞれのスケジュールで行うという状況で、「保育実習指導1」の授業では、なかなか全員が揃うことがありませんでした。それでも、みなさん一人一人の実習報告が、確実に仲間の学びとなっていくのを感じることができました。不安もあり大変な1年だったと思いますが、この1年の経験と学びを4年次の実習へと繋いでほしいと思います。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育実習指導 2	松田 純子 大澤 朋子	コロナ禍の中、最終学年を迎えたみなさんですが、何とか保育実習2を終えることができ、安堵しました。「保育実習指導2」後期は、5回のみ対面授業でしたが、幼稚園実習もあり、地方での実習もありで、授業出席も大変だったことと思います。このような状況の中でも、お互いに気遣い、支え合う姿が見られました。さすが保育を学ぶみなさんだと思いました。最終の実習報告会も大変有意義でした。4月からは、保育者として、あるいは別の道で、大きく羽ばたいてください。
健康・医療心理学	塩川 宏郷	公認心理師必修科目ですが、内容的には医療だけでなく健康をまもるしくみや地域保健などの内容が含まれています。さらに専門書等で理解を深めてもらいたいと思います。
音楽	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。アンケートに答えていただいていませんが、授業内で様々な形でコミュニケーションを取り、反応や学びの様子を見てきました。教員の助言を次に生かそうとする姿勢、積極的に動こうとする姿勢がとても良いと思います。皆さん一人ひとりが素敵な感性をもっていますので、今後も磨き続けてください。ありがとうございました。
保育実習指導 1	松田 純子 大澤 朋子	コロナ禍の中、前期の実習がすべて後期になり、各自2つの実習をそれぞれのスケジュールで行うという状況で、「保育実習指導1」の授業では、なかなか全員が揃うことがありませんでした。それでも、みなさん一人一人の実習報告が、確実に仲間の学びとなっていくのを感じることができました。不安もあり大変な1年だったと思いますが、この1年の経験と学びを4年次の実習へと繋いでほしいと思います。
保育実習指導 2	松井 利恵	コロナ禍の中、最終学年を迎えたみなさんですが、何とか保育実習2を終えることができ、安堵しました。「保育実習指導2」後期は、5回のみ対面授業でしたが、幼稚園実習もあり、地方での実習もありで、授業出席も大変だったことと思います。このような状況の中でも、お互いに気遣い、支え合う姿が見られました。さすが保育を学ぶみなさんだと思いました。最終の実習報告会も大変有意義でした。4月からは、保育者として、あるいは別の道で、大きく羽ばたいてください。
児童教育法	津田 ひろみ 南雲 成二 渡辺 敏	アンケートへのご回答ありがとうございました。授業とは言い難い6回だけの活動でしたから、回答しなかったことと思います。お土産を買いに行く、そして（予想外に）カードを取りに行つて発送準備のお手伝いをするという授業外の重労働を一部の方にお願いすることになってしまったこと、とても申し訳なく思っております。来年度は私も2回目ですし、自分の授業の中で活動できますので、もう少しフレキシブルに、うまく回せるといいます。 評価については、私は皆さんのレポート・振り返りの評価や活動の状況を渡辺先生に報告しましたが、最終評価を決定することはできません。ご了承ください。4月にまた皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。（以上津田先生からのコメントです） ☆☆（南雲先生から）1年間30回の学習、コロナ禍にもめげず、よく努力されたことに大きな拍手を贈ります。前期のコメントも再度参考にしてください。どうか、『児童教育法』の学習記録（南雲＋渡辺＋津田）を丁寧に綴り直し、3年生の「幼保コース」「幼小コース」の発展に繋げて（紡いで）行って欲しいです。
ゼミナール	井口 眞美	保育園での活動が延期になり、ちょっと寂しい年度末になってしまいましたが、来年度、必ず実現させましょう。4年次は卒論に向けて頑張ってくださいね。
ゼミナール	作田 由衣子	前期は全てリモートでしたが、後期は対面でゼミを行うことができました。それぞれしっかり自分のやりたいことを見つけて、頑張ってたもていたと思います。ただ、1対1の指導がメインになってしまった感がありますので、来年はもう少し、全員での議論やグループでの作業などもできたらと思います。
ゼミナール	塩川 宏郷	論文の検索と抄読、書籍の紹介、まとめのプレゼンテーション、研究計画の立案などに取り組みました。学生の興味関心を卒論テーマに収束できるようにしていきたいと思います。
ゼミナール	長崎 勤	臨床の経験を生かし、興味を持ったテーマについて、文献の検索、文献研究を進めてください。
ゼミナール	松田 純子	後期ゼミナールは、コロナ禍の中でしたが、何とか対面授業を行うことができ、ほっとしています。前期の実習が後期になり、各メンバーが2つの実習をそれぞれのスケジュールで行ったため、なかなか全員が揃うことがありませんでしたが、少人数ながら良いディスカッションができたように思います。次年度の卒業論文に向けて、がんばりましょう。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	細江 容子	4年次の卒業論文の執筆を想定し、研究とはなにか、論文を書くとはどのようなことか、講義を交えながら多くの学術論文を読みレポートすることで、論文執筆の心構えができたのねはないかと考える。課題多くハードなゼミではあったが、学生の力は確実についたと考える。
教職実践演習（幼・小）	田中 正浩 南雲 成二	☆☆幼小コース専攻第7期生、9人の皆さんへ。雨ニモマケズ、風ニモマケズ、そしてコロナ禍ニモマケズ、日々よく努力をしてくださいました。その実践的態度こそ、先生として教師として「こどもたち、学び手たちへの教育力、支援指導力として生きて働く力」となります。教職実践演習はまさにこの教師力育成のための時間でした。9人の皆さんの4月からの活躍を楽しんでいます。（東京都5名、埼玉県1名、山梨県1名、長野県1名、群馬県1名、素晴らしい仲間達です。）
国語	南雲 成二	コロナ禍の中、水曜日の4限「国語」（対面授業中心）を真剣に受講してくださった1年生幼児保育専攻（幼保コース&幼小コース）の皆さんに拍手です。翌日木曜日1校時の「基礎演習1」もご苦労様でした。実践女子大学の4年間を通して①幼稚園教諭1種免許状+保育士資格、②幼稚園教諭1種免許状+小学校教諭1種免許状、を取得することを目標にした方々の為の『国語＝日本語（こどもの言語発達理解と言語能力育成支援・指導の為の基礎学習）』でした。この学習を一つのスタートに2年生からの体験学習・課題学習に積極的に取り組み続けてください。応援しています。
家族と生涯発達各論 a（乳幼児・児童期）	長崎 勤	家族と発達の問題についてのトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、感染対応という大きな災害経験し、現代の様々な家族と発達の問題、特に家族におけるコミュニケーションの発達に関心を持ってもらえればと思います。
保育・教職実践演習（幼稚園）	田中 正浩 井口 眞美	実習の合間をぬっての授業となってしまいましたが、最後に保育現場での発表会を実施することができ、ホッとしています。大学生活最後のグループワークとして、いい思い出にしてくださいね。4月から保育者として自信をもって頑張ってください。
基礎演習 1 （言語表現とコミュニケーション）	田中 正浩	回答数が6割満たない本評価をもって判断することは難しいが、受講生がもっと学びたいと思える授業にしていける必要がある。授業方法や使用教材において受講生の意欲が喚起され、理解が深まるような工夫をすべきであったと反省している。今後、学ぶ意義を感じられ、満足度の高い授業になるように努めたい。
基礎演習 1 （言語表現とコミュニケーション）	南雲 成二	コロナ禍にもかかわらず、「基礎演習1の学習内容」に真剣に取り組んでくれて嬉しく思います。本年度は2クラス編成となりましたので、田中先生のご担当クラスとの情報交換を密に進めてきました。部分的には15回分のカリキュラムシラバス以上の内容も盛り込ませていただきました。アナログの配布資料も多く、1年生の皆さんには大変であったかもしれませんが。担任の南雲としては、基礎演習1の授業目的を一步でも深めたいと考えて進めてきました。常に前向きに真摯に取り組んでくれた1年生のみなさんに感謝しています。
子どもの健康と安全	塩川 宏郷	子どもの保健で学んだ内容をさらに応用・発展した内容で、保育の現場に即した形式にするよう努めました。対面授業ができるようになったら、演習形式で自ら考え、討論する、行動する内容を取り入れていきます。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	試行錯誤しながら、熱心に取り組むことができていました。
相談援助	大澤 朋子	実習の合間を縫っての授業おつかれさまでした。ZOOMは当初心配していたより演習向きのツールだなと思いましたが、教員がみなさんのグループワークの様子を十分把握できないのが課題でした。
教育制度論	田中 正浩	回答数が6割ほどなので本評価をもって判断することは難しいが、全体的に平均的な評価を得ていると思われる。ただ、授業方法や使用教材において受講生の意欲が喚起され、理解が深まるような工夫をすべきであったと反省している。今後、受講生にとって新たな発見のある、満足度の高い授業になるように努めたい。
保育学演習	松田 純子	後期「保育学演習」は、コロナ禍の中でしたが全回対面授業を行うことができ、ほっとしています。少人数でしたが、欠席者もなく、プレゼンテーションも滞りなく進められたのは、受講生のみなさん一人一人の真面目な取り組みのおかげです。みなさんの考えを聞く機会も多く作りましたが、みなさんたち自身によるディスカッションが行えるように導ければよかったというのが、私自身の反省です。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活心理概論	水野 いずみ 作田 由衣子	オンデマンド形式で授業を行いました。対面と遜色なく理解できたとのコメントもあり、自分のペースで視聴できることや理解できるまで繰り返し視聴できることは、講義動画を配信する形式のメリットと言えるかと思えます。また、社会調査に興味を持ってもらえてよかったです。
初等教科教育法（生活）	渡辺 敏	より実践に適した授業になるよう改善します。
相談援助	大澤 朋子	実習の合間を縫っての授業おつかれさまでした。ZOOMは当初心配していたより演習向きのツールだなと思いましたが、教員がみなさんのグループワークの様子を十分把握できないのが課題でした。
健康科学論c（現代医療の課題）	塩川 宏郷	学生の興味関心が高そうな児童精神医学、犯罪心理学および虐待などのテーマについて概説しました。今後は適宜事例検討や新聞記事などを検討する内容にしていきます。
生涯発達心理学b	五味 美奈子	本科目は前期科目「生涯発達心理学a」における学びをベースに、児童期以降の発達を通して各自が他者、自己を多面的に捉えることができたのではないかと思います。後期は数回の対面授業を実施することができました。受講生の皆さんの受講態度が良く、リアクションペーパーの内容からも、それぞれが意欲的に学ぼうとすることが伝わってきました。今年度の学びを深め、実り豊かな新年度となることを願っています。
図画工作	井口 眞美	途中になった活動、「ごめんなさい」としか言いようがありません。提出された作品の一部は、3年次の授業でみなさんとお会いした時に鑑賞できればと思っています。
初等教科教育法（体育）	島崎 あかね	「体育」という教科書のない教科をどのように教えるか、また「できた・できない」が他者にわかってしまう実技だけに、苦手な子どもへのフォローをどのようにしたらいいか、という点も含めて伝えることを意識したつもりです。指導案の作成や模擬授業の実施を通して、『生きる力』を育むことの重要性と伝えることの難しさを理解し、今後の実習に生かしてもらえたらと思います。
心理調査・検査法2	水野 いずみ 長崎 勤	アンケート結果を参考に次年度に生かしたいと思えます
社会福祉	大澤 朋子	半年間の受講おつかれさまでした。対面・オンライン混合の授業で、見えづらいところ、聞きづらいところもあったと思います。今後改善に努めます。またオンデマンド回テストは初の試みで、みなさんにもご不便をおかけしました。
図画工作	井口 眞美	途中になった活動、「ごめんなさい」としか言いようがありません。提出された作品の一部は、3年次の授業でみなさんとお会いした時に鑑賞できればと思っています。
子ども家庭福祉	大澤 朋子	半年間の受講おつかれさまでした。オンデマンド回と対面回が混合の授業で、理解しにくいところもあったかと思えます。オンデマンド授業の教材提示の仕方は改善に努めます。また初の試みのオンデマンド回テストでみなさんにもご不便をおかけしました。やや理解が不足している内容も見受けられましたので、復習に努めてください。
幼児教育法	井口 眞美 長谷川 恭子	後半は、指導案作成、模擬保育等、幼稚園実習を見すえて準備をしたことと思えます。それぞれの個性もみることができ、興味深い授業となりました。この学びを実習や現場で活用してくださいね。
子ども理解とカウンセリング	五味 美奈子	本科目の受講生は様々な学び、実習を経験した上での受講ということで、対面授業時のリアクションペーパーの内容から、これまでの学びなどと結びつけて学ぶ力を持っていると感じさせられた半期でした。この4年間の学びを1年目はうまく繋がられないこともあるかもしれませんが、いつかどこかで何らかの形で繋がりますので、これまで頑張ってきた自分を信じて現場でゆっくり焦らず頑張りすぎず子どもと共に成長されますように願っています。
臨床心理学2（心理学的支援法）	五味 美奈子	本科目では全般を通して受講生の興味・関心が高かったことが伺えました。カウンセリングの基本、心理検査、主な心理療法など、本科目の内容は臨床心理の入口だと思っていただき、今後は各自、様々な文献を用いて調べるなどして深めてほしいと思えます。リアクションペーパー、最終レポートを読ませていただき、私自身も気づきを得ることができました。ありがとうございました。

[2020（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
初等教科教育法（音楽）	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。コロナ渦で制約の多い中での授業でしたが、皆さんと相談しながら、できることを臨機応変に行うことができ、とても楽しく充実した時間になりました。授業で積極的にコミュニケーションができたのも良かったです。コメントに感覚でやっていたことを理論として理解できたことあり、その大切さに気づいていただけて嬉しいです。今後、さらに学んでいってほしいと期待しています。ありがとうございました。
ゼミナール	大澤 朋子	前期はZOOM、後期になってようやく半分くらいお会いできたゼミでしたね。親睦会の機会もなく1年が終わってしまっても残念です。次年度は卒論中心ですが、互いに情報共有しあってやっていきましょう。
ゼミナール	島崎 あかね	来年の卒業論文に向けて、各自が興味関心のある論文を読んだり、自律神経活動やストレス状態の測定などを行いました。予定していた暑熱環境下における測定実験ができず残念でした。ゼミ合宿も実施できなかったのが、来年度いろいろ実施できるようにしたいと思っています。
生涯発達心理学演習 b	五味 美奈子	本科目では前期科目「生涯発達心理学演習a」に引き続き、主に学生による発表、他の受講生は発表に対してコメントをするという形で進めました。発表者は、それぞれが与えられたテーマの中で関心のある内容を発表しましたが、同じテーマであっても学生によって視点が異なり、大変興味深い内容となっていました。コメントも2年次後期になり、深まりが出てきたように思えます。 3年次からいよいよゼミが始まります。今回、ひとつのテーマを自分なりに調べることでついた力、他者の発表を通して考えたことによりつけた力をゼミで発揮されますようお願いしています。
健康科学概論	塩川 宏郷	授業内容が専門的、かつ多岐にわたるので双方向によるオンライン授業では十分に学習が深まらなかったと感じます。今後は、質疑応答の時間や振り返りのためのリアクションペーパーなどを用いて、理解の度合いを確認しながら進めていきたいと思っています。
心理学演習 2	作田 由衣子	授業アンケートへの回答者が1名のみでしたが、履修者3名ともとても頑張っていて、ついてくれたと思いました。論文を読むだけでなく、資料収集やプレゼンテーションなど、今後にも必要になる能力が身についたのではと思います。
家庭工学	加藤木 秀章	家庭用品などには工学が多く利用されていますので、身近な事例からみるとよりわかりやすくなります。
保育学	井口 真美	オンデマンドでみなさんにお会いすることができず、残念でした。でも、誠実に授業を受けてくれる人が多く、感心しました。（コメントが十分返せなかったこと、お詫びします）今後も保育や子どもに関心を持ち続けてください。
栄養学	於保 祐子	Zoomでの授業でしたので、授業資料と要点まとめのプリントをmanaでも配布して、WEB視聴と机上のノートテイクを併用する事で集中して学修できるように工夫しました。授業録画をGoogle Driveにアップしてオンデマンド受講も可能としました。これらは復習にも使っていただけて学修が深まったようで良かったです。これからも栄養学に興味を持ち続けてください。